

おおたの未来づくり 第6学年 単元計画シート (R7年度実践例)

蒲田小

単元名	「新KAMATA名勝地プロジェクト」小学生が提案する新しい蒲田の街づくり		学年・5年生
内容	B_地域の創生	カ:地域の取組の提案型	総時間数35
目標	・蒲田地域に住む様々な立場の人の意識に立ち、かつて存在していた名勝地の復活と歴史の伝承を企画・制作するための内容的・方法的な知識・技能を身に付ける。 ・蒲田菖蒲園の歴史と魅力をより効果的に伝えるために、試行錯誤しながら未来の蒲田地域の発展を目指したプレゼンテーションの作成を通じて、地域の課題や願いを解決する方法を考える。 ・大田区立郷土博物館の方々と連携し、地域の歴史の伝承に携わる人々の思いに気づき、地域のために何ができるかを主体的に考え、未来を創造しようとする態度を養う。		
時数		主な学習活動	日程・教具
1	コンセプト	オリエンテーション 大田の未来づくりって何をするの? ・みんなに依頼が来ています。 ・自分の発想を生かす。アイデア大歓迎。 ・地域の良さや変えたほうが良いところをもとに、これからの街づくりに寄与するプロジェクトを考える ・一人でできないことを、協働し、試行錯誤して、実現する。	
2		自分の発想①蒲田はこれまでどういう良さや課題があったか。どんなプロジェクトを組んだらいいか	〇〇な蒲田アイデアシート
3		社会人ごっこで、必要な名刺づくりをする。 ・責任感をもって プロジェクトリーダーとしての自覚を持つ	
4		おうちの方や近所の方にインタビューしてみよう。(もしくはアンケート) 児童の反応例 ・家の人たちは、蒲田の町のことをあまり知らないといわれた。 ・自分たちも、蒲田の町のことをあまりわからない気がする。	キープポテンシャルカード①
5		講話・依頼人(町会の山根さん、ひ田さん)からの蒲田のこれまでについてお話を聞く ・町の人は住みよくなかったことを改善してきた ・新しい蒲田のイメージで考えてほしい	キープポテンシャルカード①
6		これまでの蒲田の良さや課題をつかむ 児童の反応例 ・人がやさしい、交通が便利、食べ物がおいしい(餃子) ・ゴミが多い、酔っ払いが多い、治安が悪い	キープポテンシャルカード①の 〇〇な蒲田アイデア欄を書き込む
7		講話 築地さんに蒲田菖蒲園や蒲田の街の特徴についてインタビューする ・花を育成しやすい土地 ・海外と蒲田の花 梅の木村 ・行楽 ・菊、梅屋数など花にまつわる地域 ・その他、映画、工場、香料の会社など	キープポテンシャルカード②
8		景勝地だった蒲田のイメージを持つ。そして、どんなプロジェクトを考えたらいいか 児童の反応例 ・花やぐ街 ・梅の花が有名だったとわかった ・香りのいい街だったと聞いてびっくり ・花しょうぶがたくさん咲いていたと聞いて、今は橋しかないのが残念。	キープポテンシャルカード②の 〇〇な蒲田アイデア欄を書き込む
9		講話 蒲田菖蒲園について横浜植木株式会社の高木さんにインタビューする ・景勝地・蒲田小の校地	キープポテンシャルカード③
10		講話 呑川の会 決してきれいとは言えない呑川について、その役割を知り、きれいにしようと取り組む方々の努力に学ぶ。 ・上流、下流のきれいな呑川の面 ・雨水の放水路という役割を持つために、下水が流れていることもある ・呑川の会は、清掃活動、生物の観察に取り組んでいる	キープポテンシャルカード③の 〇〇な蒲田アイデア欄を書き込む
11	デザイン	景勝地だった蒲田小のイメージを持つ。どんなプロジェクトを考えたらいいか 児童の反応例・花しょうぶを復活させたい・花を植えたい・花にまつわるグッズを作りたい・歴史を知らせたい	キープポテンシャルカード④
12		呑川のきれいな川の側面についてのイメージを持つ。そのうえで、どんなプロジェクトを考えたらいいか 児童の反応例 ・呑川の清掃をしたい ・呑川の生き物を観察したい	キープポテンシャルカード④の 〇〇な蒲田アイデア欄を書き込む
13		未来の蒲田 大田区は外国からの仲間と共生する方針 餃子の街蒲田 ニーハオの八木さんのことを知る ・餃子の町と呼ばれるのはニーハオの八木さんがきっかけ ・中国残留邦人として、2つのふるさとの橋渡しをしたい。	キープポテンシャルカード⑤、 〇〇な蒲田アイデア欄を書き込む
14		良さや課題をつかみ、それを超えるために、どんなプロジェクトを組めばよいか考え、また共通のテーマになる言葉を考える。 ・花ときょうぎのKAMATA・キレイなKAMATA・梅と菖蒲のかおるKAMATA	クラスごとに、テーマをまとめる。
15		・蒲田菖蒲園と蒲田地域との良さや歴史について調べる。➡国:読	
16		・蒲田菖蒲園を復活させることの意義を調べる。	
17		・蒲田小学校敷地内にある自生している菖蒲の手入れを行う。	
18		・蒲田小菖蒲の花や栽培方法について調べる。➡理:生命	
19		・当時の蒲田菖蒲園で咲いていた品種か否かを調べる。	
20		・収集した情報や体験を基に、伝承したい内容について検討する。➡国:話・聞	
21		・蒲田の良さを伝えるスライド、ポスター、動画などの作成する。➡国:話・聞	
22		・グループごとにキャッチコピーを考え、それを基に名所のデザインを考える。➡国:書、図:表現(場所:あやめ橋側の門)	
23・24		・各グループがまとめたことを発表し、他のグループと意見交換をする	
25・26		・外部協力者に中間発表を行い、自分たちの取組のよい点や改善点について意見をもらう。	
27・28	クリエーション	・中間発表でもらった意見を基に、グループの提案を再検討し、改めて必要な情報を収集する。	
29・30		・最終発表会に向けて、提案を再構築する。➡外➡外	
31・32		・最終発表会を行い、自分たちの提案を説明する。➡社:情報	
33		・蒲田小学校自生菖蒲の株分け贈呈式を行う。	
34		・すべてのグループのデザイン画をまとめたものを、蒲田小学校に自生しているあやめ橋側の門のフェンス外側に掲示する。	
35		・学習活動の振り返りを行う。	